平成24年6月20日（水曜日）

議事日程第4号

平成24年6月20日（水曜日）午前10時開議

- 第 1 議案第120号 大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 議案第121号 大仙市印鑑条例及び大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について (総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 議案第122号 大仙市上淀川エコ対策コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 議案第127号 秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 議案第128号 大仙市過疎地域自立促進計画の変更について
(企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 6 議案第123号 大仙市世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 7 議案第124号 大仙市西仙北高齢者ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 8 議案第125号 大仙市西仙北スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 9 議案第126号 大仙市簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第10 議案第129号 財産の取得について
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)

- 第11 議案第130号 平成24年度大仙市一般会計補正予算（第2号）
（各常任委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第12 議案第131号 平成24年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
（総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第13 議案第132号 平成24年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）
（教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第14 請願第15号 TPP交渉参加に向けた協議の中止を求めることについて
（企画産業委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第15 各委員会からの閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出について
- 第16 議員の派遣について
- 第17 議案第133号 教育委員会委員の任命について（説明・質疑・討論・表決）
- 第18 議案第134号 教育委員会委員の任命について（説明・質疑・討論・表決）

出席議員（28人）

1番 藤田君雄	2番 佐藤文子	3番 後藤健
4番 佐藤隆盛	5番 藤井春雄	6番 杉沢千恵子
7番 茂木隆	8番 小山緑郎	9番 小松栄治
10番 富岡喜芳	11番 佐藤清吉	12番 石塚柏
13番 金谷道男	14番 大野忠夫	15番 渡邊秀俊
16番 高橋敏英	17番 児玉裕一	18番 佐藤芳雄
19番 大山利吉	20番	21番 高橋幸晴
22番 本間輝男	23番 橋本五郎	24番
25番 橋村誠	26番 佐藤孝次	27番 武田隆
28番 千葉健	29番 竹原弘治	30番 鎌田正

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

市長 栗林次美	副市長 久米正雄
副市長 老松博行	教育長 三浦憲一

代表監査委員	福原堅悦	総務部長	元吉峯夫
企画部長	小松辰巳	市民部長	山谷勝志
健康福祉部長	佐々木昭	農林商工部長	高橋豊幸
建設部長	田口隆志	上下水道部長	小松春一
病院事務長	伊藤和保	教育指導部長	小笠原晃
生涯学習部長	佐藤裕康	総務課長	伊藤義之

議会事務局職員出席者

局長	佐々木誠治	次長	竹内徳幸
主幹	堀江孝明	主席主査	田口美和子
主査	佐藤和人		

午前10時00分 開 議

○議長（鎌田 正） おはようございます。

これより本日の会議を行います。

○議長（鎌田 正） 本日の議事は、議事日程第4号をもって進めます。

○議長（鎌田 正） 日程第1、議案第120号から日程第4、議案第127号までの4件を一括して議題といたします。

本4件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。はい、15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 おはようございます。

本会議第3日、当委員会に審査付託となりました事件について、去る6月14日、委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求め、慎重審査いたしましたので、その経過及び結果について順次ご報告いたします。

はじめに、議案第120号「大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について」でありますが、当局の説明に対し、質疑において「個人市民税の均等割が増税されるようだが、賦課対象者の所得の基準は幾らか。また、均等割は県税と合わせて毎年千円ずつ10年間課税されることになるのか。」との発言があり、当局からは「扶養親族がい

ない場合は、所得金額の28万円が免税点となり、扶養親族がいる場合は、扶養親族1人当たり28万円に世帯分16万8千円を加えたものが免税点となっている。また、均等割は、ご質問のとおり県税と合わせて毎年千円ずつ10年間課税されることになる。」との答弁がありました。

討論において、「本条例案は復興を大義名分として法人税の大幅減税を実施する一方、庶民には所得税と個人住民税の増税を押し付けようとする財界大企業本位の復興財源確保策を講じた特別措置法に基づくもので、低所得者や被災者を含め、個人住民税の均等割の引き上げ、また、退職所得に対する10%税額控除の廃止で市民経済のさらなる悪化をもたらすものであり、反対する。」との発言がありました。

採決の結果、出席委員の多数をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第121号「大仙市印鑑条例及び大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、当局の説明に対し、質疑において「現在大仙市には外国人が何人在住しているのか。また、印鑑の大きさには制限があるのか。」との発言があり、当局からは「5月7日時点で223人が外国人登録されており、そのうち7月9日から210人が新たに住民票に記載され、62人が印鑑登録している。なお、登録できる印鑑の大きさは、印鑑条例により一辺が8mmから25mmの正方形の範囲内となっている。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第122号「大仙市上淀川エコ対策コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、当局の説明に対し、質疑において「使用料から利用料金制に統一していく流れだと思うが、このような旧市町村時代からの施設の条例を一本化し、使用目的をきちんと定め、将来に向けて効率性を図っていかねばならないのではないか。」との発言があり、当局からは「各部にわたり旧市町村時代からの施設が多くあるが、目的や部署・管轄の違う施設の統一は、現段階では難しいと考える。なお、これは市全体の問題として検討させていただきたい。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第127号「秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について」でございしますが、当局の説明に対し、質疑において「外国人の場合、どれほどの滞在期間で社会保険または国民健康保険に入ることになるのか。また、年金についても同様か。」との発言があり、当局からは「社会保険等に参加していない方が法令上3カ月以上滞在した場合、国民健康保険に参加することになっており、国保に入った場合は年金にも入ることになっている。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、同意すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありますので、発言を許します。2番佐藤文子さん。はい、2番。

○2番（佐藤文子）【登壇】 私は、議案第120号、大仙市税条例の一部を改正する条例の制定に反対討論を行います。

本案の根拠となる法律、経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための地方税法の一部改正と東日本大震災からの復興に関して地方公共団体が実施するための施策に必要な財源の確保にかかわる地方税の臨時特例に関する法律、これらは昨年11月30日に成立したものであります。が、これらはいずれも政府が10年間で23兆円、前半の5年間で19兆円と見込んだ東日本大震災からの復興財源にするための復興増税であります。

復興財源の中には、震災を教訓に全国で実施すべき防災対策費といった、厳密には大震災関係とは言い難い経費も含まれております。これらを含め19兆円の財源を確保するため、所得税、法人税、個人住民税などで復興増税を図ったのであります。

しかし、その内容を見ますと、所得税では年2.1%増税で25年間、これによる増税分は7.3兆円、住民税均等割年1,000円の増税で10年間、これによる増税分は0.8兆円となります。

その一方で、法人税は増税期間3年間で増税分は2.7兆円となるものの、もとより

現行税率の30%を25.5に4.5%引き下げているため、25年間では実質減収が17.6兆円にも及ぶと言われています。所得税と住民税の増税分、そして法人税の減税分と相殺され、実質減収分は25年間で7.1兆円と試算されており、財源も出てこないというのが実態になっているようであります。結局、復興増税は復興を大義名分として法人税の大幅減税を実施する一方で、庶民には増税を押し付ける大衆課税の典型であります。本条例案は、このような政府の財界や大企業本位、復興増税策を講じた特別措置法等に基づくもので、低所得者や被災者を含めて個人住民税の均等割の引き上げを行い、また、退職所得に対する10%税額控除、これを廃止するというふうなことで、暮らしと地域経済にさらなる悪化をもたらすものであるとして、私は賛成できないのであります。

以上で討論を終わります。

○議長（鎌田 正） ほかに討論の通告がありませんので、これにて討論を終結いたします。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第120号を採決いたします。この採決は起立によって行います。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（鎌田 正） 起立多数であります。よって本件は、原案のとおり可決されました。

次に、ただいま議題となっております案件中、議案第121号及び議案第122号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は原案可決であります。本2件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決されました。

次に、ただいま議題となっております案件中、議案第127号を採決いたします。本件に対する委員長報告は同意であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。

○議長（鎌田 正） 日程第5、議案第128号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長7番茂木隆君。はい、7番。

○企画産業常任委員長（茂木 隆）【登壇】 ご報告いたします。

今期定例会、本会議第3日に当常任委員会に審査付託となりました事件につきまして、去る6月14日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

はじめに、議案第128号「大仙市過疎地域自立促進計画の変更について」でございますが、当局からの内容説明に対し、質疑において「ソフト事業も過疎債を使えるという制度ができたことにより、単に財政手当のための計画ではなく、事業の優先度を明確にし、過疎地域を自立させるための方向性を持った計画の作成が必要ではないか。」との質問があり、当局からは「過疎計画の中で地域の活性化について見ていくことは当然のことで、今後も許容の範囲内で過疎債を有効に活用していきたい。」との答弁がありました。

また、「過疎債における事業費の充当率は幾らか。」との質問があり、当局からは「充当率は100%で交付税算入率が70%、償還期間については据え置き3年で12年償還である。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致を持ちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第128号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第6、議案第123号から日程第8、議案第125号までの3件を一括して議題といたします。

本3件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長19番大山利吉君。はい、19番。

○教育福祉常任委員長（大山利吉）【登壇】 ご報告いたします。

本会議第3日に当委員会に審査付託となりました事件につきまして、去る6月14日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

はじめに、議案第123号「大仙市世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、当局の内容説明を了とし、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第124号「大仙市西仙北高齢者ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、当局からの内容説明に対し、委員からは「使用料金について、これまで高齢者や町内会等では無償で借りていたが、今後において同様に減免することができるのか。」との質疑があり、それに対して当局からは「減免の規定はこれまでどおりの運用を行っていく。」との答弁がありました。

その他には質疑もなく、当局の内容説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第125号「大仙市西仙北スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、当局の内容説明に対し、委員からは「老朽化に伴い、西仙北地域の武道館を取り壊すことは結構だが、剣道や柔道の大会が毎年計画され開催されている。小学校も統合され、会場が手狭で、また、大会が重なることが予想されるが、今後、市内に武道館の建設予定はあるのか。」との質疑があり、それに対して当局からは「市内には16施設の市民体育館があり、今後も既存のスポーツ施設の活用の推進を図ってまいりたい。現在、武道館等の施設建設は考えていない。」との答弁がありました。

その他には質疑もなく、当局の内容説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第123号から議案第125号までの3件を一括して採決いたします。本3件に対する委員長報告は原案可決であります。本3件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本3件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第9、議案第126号及び日程第10、議案第129号の2件を一括して議題といたします。

本2件に関し、委員長の報告を求めます。建設水道常任委員長29番竹原弘治君。はい、29番。

○建設水道常任委員長（竹原弘治）【登壇】 ご報告いたします。

今期定例会本会議第3日に当委員会に審査付託となりました事件につき、去る6月14日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

はじめに、議案第126号「大仙市簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、当局からの内容説明に対し、質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第129号「財産の取得について」でございますが、当局からの内容説明に対し、質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、同意すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第126号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は、委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

次に、ただいま議題となっております案件中、議案第129号を採決いたします。本件に対する委員長報告は同意であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。

○議長（鎌田 正） 日程第11、議案第130号を議題といたします。

本件に関し、各委員長の報告を求めます。はじめに総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。はい、15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 ご報告いたします。

議案第130号「平成24年度大仙市一般会計補正予算（第2号）」のうち、当委員会に付託された所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、質疑において「エレベーターの設置工事を当初予算に計上しておきながら、工期が来年1月までかかるのはなぜか。車椅子の方などに不便をかけている状況であり、遅くとも年内には完成するよう努力すべきである。」との発言があり、当局からは「補助事業の交付決定が5月末だったことに加え、エレベーター設置工事の実施設計が5月半ばまでかかったことなどによるが、早ければ12月にできるものと考えている。」との答弁がありました。

また、「墓地公園に係る償還金の還付を6月補正に計上しているが、条例の中で返還の時期を明記しているなど、早急に支払うための根拠はあるのか。」との質疑に対しては「相手方を待たせるわけにはいかないため6月補正に計上したが、返還の時期等につ

いては条例等に明記していない。お詫びするとともに、今後検討し、対処したい。」との答弁がありました。

さらに2、3の質問がありました。が、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

次に、企画産業常任委員長7番茂木隆君。はい、7番。

○企画産業常任委員長（茂木 隆）【登壇】 ご報告いたします。

同じく議案第130号のうち、当委員会に付託された所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、質疑において、ふるさと応援基金の今後の活用計画についての質問があり、当局からは「今回は4つの分野のうち教育分野について事業を行ったが、今後の事業については検討中である。今後もふるさと納税に寄附をいただけるような環境をつくり、PRを含めた事業を実施してまいりたい。」との答弁がありました。

また、「青年就農給付金について、農業以外からの就農者も対象になるので、この事業と絡めて住居や耕作地及び営農支援体制などの環境整備に努められたらどうか。」との質問があり、当局からは「市研修施設の活用も含め、検討していきたい。」との答弁がありました。

また、「対象者20名の就農形態については、どうなっているのか。」との質問があり、当局からは「独立している方が4名、親元就農で部門を継承している方が1名、同じく親元就農で新しく部門を立ち上げた方が1名、親の経営を継承した方が14名となっている。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

か。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 質疑なしと認めます。

次に、教育福祉常任委員長19番大山利吉君。はい、19番。

○教育福祉常任委員長(大山利吉)【登壇】 ご報告いたします。

議案第130号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの内容説明に対し、委員からは「児童館管理について、これまで指定管理していたものを、なぜ市直営に戻す必要があったのか。指定管理の考え方が甘かったのではないか。」との質疑があり、それに対して当局からは「平成22年度まで指定管理をお願いしてきたが、昨年度からは市が管理しなければならないものと事業委託が可能なものを精査し、直営とした。」との答弁がありました。

また、払田柵跡管理費について、委員からは「防腐対応の材料は使用できないものか。」との質疑があり、それに対して当局からは「使用はしているが、それでも腐食が進んでしまった。これまでは昔の材料で、昔の工法での復元が条件であったが、最近は規制も緩和されてきたことから、長期保存できるよう工夫をしたい。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長(鎌田 正) ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 質疑なしと認めます。

次に、建設水道常任委員長29番竹原弘治君。はい、29番。

○建設水道常任委員長(竹原弘治)【登壇】 ご報告いたします。

議案第130号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、質疑において「南外の不動の滝遊歩道路肩の崩落について、今冬の融雪だけでそうなったのか。また、ほかにも災害箇所があるが、全部復旧するのか。」との発言があり、当局からは「昨年の豪雨で一度工事している箇所が、今冬の豪雪での融雪により崩落したものであり、また、その他の災害箇所を復旧す

ることについては、公園の利用状況を見て、今後どの程度まで復旧するか検討してまいりたい。」との答弁がありました。

また、質疑において「不動の滝は来客者が多いので、全部の復旧について努力していただきたい。」、「地元の声聞きながら十分に検討していただきたい。」との発言がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第130号を採決いたします。本件に対する各委員長報告は原案可決であります。本件は、各委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第12、議案第131号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 ご報告いたします。

議案第131号「平成24年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）」につきましては、当局からの補正内容の説明を了とし、質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第131号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長(鎌田 正) 日程第13、議案第132号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長19番大山利吉君。はい、19番。

○教育福祉常任委員長(大山利吉) 【登壇】 ご報告いたします。

議案第132号「平成24年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)」につきましては、当局の内容説明に対し、委員からは「放射性物質の検査について、子供たちの食の関係であることから優先的にやるべき問題ではあるが、これについては最終的に国の責任も出てくるのではないか。あくまでも市単独で行うのか。」との質疑があり、それに対して当局からは「これまで県の測定器を使用し、月2回の検査を実施してきたが、さらに安全・安心を高めるために、また、いつでも検査ができる体制を整えるため、食材放射性物質検査機器を導入したい。学校給食センターだけでなく、保育園の給食、一般の方々からの自家消費の検査依頼にも応えていく予定であり、いつでも検査できる体制をつくることを目的としている。市としてやるべきことをきちんとやるという考えで機材の購入に至った。」との答弁がありました。

その他に質疑もなく、当局の内容説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長(鎌田 正) ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第132号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長(鎌田 正) 日程第14、請願第15号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長7番茂木隆君。はい、7番。

○企画産業常任委員長(茂木 隆) 【登壇】 ご報告いたします。

請願第15号「T P P交渉参加に向けた協議の中止を求めることについて」ですが、本請願の紹介議員の出席を求め、慎重審査をいたしました。

紹介議員である佐藤文子議員の説明に対し、その願意は妥当であるが、既に平成22年第3回臨時会において同一趣旨の内容で意見書第11号を秋田県内各市町村議会に先駆けて提出していることから、趣旨採択が妥当であるという意見が出され、出席委員の一致をもちまして、本件は趣旨採択すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長(鎌田 正) ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 討論なしと認めます。

これより請願第15号を採決いたします。本件に対する委員長報告は趣旨採択であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって本件は、趣旨採択とすることに決しました。

○議長（鎌田 正） 日程第15、各委員会からの閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出についてを議題といたします。

各委員長から、審査及び調査中の事件につき、会議規則第103条の規定により、お手元に配付いたしましたとおり、閉会中の継続審査及び継続調査の申し出がありました。

お諮りいたします。各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査及び継続調査とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出のとおり決しました。

○議長（鎌田 正） 日程第16、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。地方自治法第100条第13項及び会議規則第158条の規定により、お手元に配付のとおり、大仙市議会市政懇談会へ議員派遣することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって、大仙市議会市政懇談会へ議員派遣することに決しました。

○議長（鎌田 正） 日程第17、議案第133号及び日程第18、議案第134号の2件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。栗林市長。

○市長（栗林次美）【登壇】 議案第133号及び議案第134号の教育委員会委員の任命について、ご説明申し上げます。

本2件につきましては、当市教育委員会委員のうち、信田健氏と富樫佳典氏の任期が来る6月30日をもって満了することから、富樫佳典氏については再任し、信田健氏については後任として鈴木直樹氏を新たに任命いたしたく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めるものであります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願い申し上げます。

○議長（鎌田 正） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本2件については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本2件については、委員会の付託を省略することに決しました。

ただいま議題となっております案件中、議案第133号に対する討論を行います。討論はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 討論なしと認めます。

これより議案第133号を採決いたします。本件は、同意とすることにご異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。
次に、議案第134号に対する討論を行います。討論はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 討論なしと認めます。

これより議案第134号を採決いたします。本件は、同意と決することにご異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。

○議長（鎌田 正） 以上で本定例会の日程は全部終了いたしました。

これにて平成24年第2回大仙市議会定例会を閉会いたします。

長い間、大変ご苦勞様でございました。

午前10時45分 閉 会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会議長

議 員

議 員

議 員